

番組審議会

第672回

2023年6月19日

■ 審議会の構成

委員総数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 江 澤 佐知子

委 員 尾 縣 貢 萱 野 稔 人

喜田村 洋 一 佐 藤 智 恵

洞 口 依 子 長 嶋 有

水無田 気 流 目加田 説 子

TBSテレビ 佐々木 社 長

井 田 取締役

瀬戸口 編成局長

安 田 コンテンツ制作局長

坂 本 バラエティ制作三部長

保 津 情報制作局情報三部長

法 亢 報道局報道番組1部長

高 田 総合演出

田 崎 プロデューサー

中 田 編成考査局長

村 田 視聴者サービス部長

天 野 番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「SDGsの日」5月20日(土)14:00～21:54放送分

(審議対象部分;「THE TIME,」「クレイジージャーニー」

「せっかくグルメ!」「葉加瀬太郎×ごみ楽器集団」)

(2) その他

2. 事務局報告事項

- (1) 視聴者からの声について
- (2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「SDG sの日」について）

- TBSには「報道の日」「音楽の日」「お笑いの日」などの大型特番があるが、今回の「SDG sの日」は最もメッセージ性が高かった。

- 「ごみを宝に」という具体的なテーマで様々な番組を串刺しにしたのは良かった。番組を横断して、組織の縦割りを克服し、テレビ局としてSDG sに取り組む姿勢を見せることができたのは非常に意義深かった。

- 問題提起だけでなく、ポジティブな考えを視聴者に与えることができたのは良かった。若い人でもこうした行動の仕方があるんだということを提示できた。

- 地上波テレビはタレントでない普通の若者をもっとたくさん出して欲しい。将来を担う子どもたちの姿を見せることは、SDG sの趣旨にかなっていると思う。

- この番組を視て、SDG sに関心を持つ学生がもっと増えることを期待したい。

- 「クレイジージャーニー」パートのインドのごみリポートは、その風景に圧倒された。テレビにできることは、今ここにこうした現実があるんだということを提示することだ。ただ何故こうなったのか、もう少し答えのヒントも欲しい。

- 「クレイジージャーニー」パートを視て、SDG sは世界のごみ山を解決して初めて本当のゴールを達成するのではないかと思った。それぐらい印象的だった。

- 「クレイジージャーニー」パートは、臨場感たっぷりにインドをリポートしてくれた。少し気になったのは、スタジオでもう少し掘り下げないと、“かわいそうな人たち”を上から目線で見るとつながらないか、という点だ。

□未利用魚を取り上げた「せっかくグルメ！！」パートも非常に良く出来ていた。どういった魚で、未利用の理由や活用方法、調理方法までも、包括的に伝えてくれた。

□司会のバナナマンのお二人の健闘を心からたたえたい。芸人としての側面も、進行役としての側面も含め、長時間番組の縦軸を支えるにはとても適任だった。

□以前、SDG sの番組を視たときにはとってつけた感・つぎはぎ感があったが、今回はテーマが収れんされていて違和感がないことに、非常に感心した。

□SDG sの意味や掲げられた項目を意識的に学んだ大人の世代と、学校や社会でSDG sを体感して無意識のうちに体得した次世代には、既にギャップがある。この点、今後は配慮・危機感を持って番組制作に臨んだ方がよいのではないか。

□8時間通して視ると、一部グダグダ感が目立つところがあった。特に「生放送の顔大集合」などは少し改善した方がよいのではないか

□生放送感がやや伝わらなかった。他局ではマラソンもあるが、8時間を引っ張る企画を串刺しでやった方がよいのではないか。

□今回、それぞれの放送枠を持つ制作者・クリエイターにSDG sというお題を与えて、かつそれぞれの色を残そうと苦労された。転がすスタジオ部分でのテーマが何か明確にあれば、8時間をもう少し上手く回すことができたのではないか。

□2015年の国連総会での採択以来、SDG sがこれほど浸透したのはテレビの功績ではないか。これからもTBSには率先して取り組んで頂きたい。

TBSテレビでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(番組審議会事務局)